

全工 2020- 231 号
令和 3 年 3 月 25 日

公益社団法人 全国工業高等学校長協会
関係校長 様

公益社団法人 全国工業高等学校長協会
理 事 長 片 受 健 一
(公印省略)

「工業高校生の専門的職業人として必要な資質・能力の評価手法の実践研究」
実践研究校の公募について

桜の便りが聞かれる候になりました。皆様におかれましては益々ご健勝のことお喜び申しあげます。

さて、平成 30 年 2 月 14 日に文部科学省から高等学校学習指導要領の改訂案が発表され、基本的な考えとして「資質・能力の確実な育成」「社会に開かれた教育課程」「確かな学力の育成」が示されました。授業改善やカリキュラムマネジメントに向けて、この研究を工業系高校の多様な学習活動の評価手法として積極的に活用していただきたく、令和 3 年度も募集要項のとおり実践研究校の公募をいたします。

全国で教育改革が急速に進んでおり、各校においても次期高等学校学習指導要領に向けた教育課程の検討、質の保証等、教育力の向上に取り組んでいることと思います。本協会が平成 25 年度から 3 年間取り組んだ文部科学省委託事業「工業高校生の専門的職業人として必要な資質・能力の評価手法の調査研究」につきましましては、各方面から高い評価をいただきました。会員校のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。本協会は、この成果を更に深化・拡張することを目指して平成 28 年度から全国各地の学校から協力をいただいて研究を継続しております。しかしながら、令和 3 年度をもってこの研究の区切りとしますので、最後の 1 年間ではありますが、是非、多くの会員校からの応募をお願い申し上げます。

【実践研究計画書提出先】

公益社団法人 全国工業高等学校長協会

工業教育研究所 鳥居雄司

torii@zenkoukyo.or.jp

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-8-1

電話 03-3261-1500 FAX 03-3261-2635

「工業高校生の専門的職業人として必要な資質・能力の評価手法の実践研究」

実践研究校募集要項

1. 事業内容

平成25年から27年度まで3年間実施した文部科学省委託事業「工業高校生の専門的職業人として必要な資質・能力の評価手法の調査研究」に続く、本協会主催の実践研究

2. 募集内容

令和3年度新規研究校 3校

令和3年度継続研究校 3校

3. 事業時期

令和3年度（年度ごとに実践研究をまとめ、研究校の継続を妨げない）

4. 実践研究課題

工業高校生の専門的職業人として必要な資質・能力の評価手法の実践研究

5. 実践研究のねらい

文部科学省委託事業成果の深化、普及そして定着

6. 実践研究の内容

(1) 研究校

新規研究校 工業高校教育の「質の保証」を担保する評価手法の実践研究
ルーブリックの開発、パフォーマンス評価等の実践、報告書作成
継続研究校 実践研究の深化、普及、報告会及び公開授業の実施、報告書作成

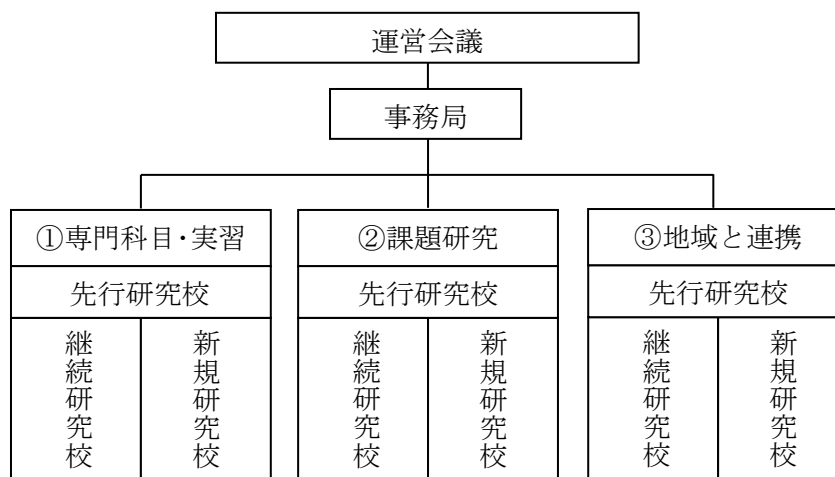
(2) 研究校組織

個人研究ではなく、学校としての実践研究を支える研究体制の組織化
研究校の研究代表者を専任

(3) 実践研究校支援組織

運営会議、事務局 — 実践研究校の支援、成果とりまとめ
先行研究校 — 実践研究の深化、普及、定着そして実践研究校の支援

(4) 支援体制



7. 実践研究費用

全工協会から支給

8. 応募方法

別紙の応募用紙下線部を記入し、記入済ファイルをメールに添付して送付する。

送付先 全工協会附属工業教育研究所 鳥居雄司

torii@zenkoukyo.or.jp

送付期限 令和3年4月23日(金)

9. その他

事業内容について参考資料

- ・ 研究報告冊子(平成25年～27年)文部科学省の報告書
「工業高校生の専門的職業人として必要な資質・能力の評価手法の調査研究」
- ・ 研究報告冊子(平成28年～令和2年)全国工業高等学校長協会の報告書
「工業高校生の専門的職業人として必要な資質・能力の評価手法の実践研究」
- ・ 全工協会「工業教育」(平成28年1月～7月)
特別寄稿「多様な学習成果の評価手法に関する調査研究」
- ・ 実教出版「工業教育資料366」(2016年3月)
「これからの全国工業高等学校長協会の活動」
- ・ 日本教育新聞記事(平成28年7月25日)
「専門的職業人教育の評価を研究」
- ・ 北海道通信記事(平成29年11月16日)
「多様な学習成果の評価手法調査 研究成果 活動に一助に 帯広工業高が公開授業・講演」
- ・ 十勝毎日新聞記事(平成29年11月17日)
「生徒の評価手法学ぶ 全国から教諭、授業見学 帯広工業高」
- ・ 読売新聞記事(宮城版 平成29年12月15日)
「楽しくプログラミング 仙台工生が先生 必修化前に児童挑戦」
- ・ 日本教育新聞記事(平成30年1月22日)
「プログラミング教育 小学生向け授業を生徒が企画・実施 仙台市立仙台工業高等学校」
- ・ 下野新聞(平成30年12月8日)
「デッサン実習など見学 全国工業高等学校長協会 足利工で公開研究会」
- ・ 日本教育新聞記事(令和2年12月21・28日)
「評価手法の改善へ」